



新年あけましてあめでございます。

今年も愛の浜園をよろしくお願いたします。

昨年中は、ご家族をはじめご支援いただいている皆様に助けられた1年だったと感じるとともに、愛の浜園だけでなく日本中が、年間をとおして新型コロナウイルス感染症に振り回されていたように感じています。本園では、ワクチン接種を積極的に進めたものの、多くのご利用者および職員が陽性となり、ご家族や関係者の皆様には大変ご心配をおかけしました。また、短期入所等の受入も制限することとなり、ご迷惑もおかけしました。そのように制限のあるなかでも、園内行事の開催や島内旅行を実施、ウイズコロナにおける支援を模索した1年でもありました。施設整備の面では、居住棟の老朽化したクーラーを更新するなど、居住環境などを改善してまいりました。そのほか、多目的ホールや就労棟にスプリンクラーの設置を進めハード面での防災機能の拡充を図るとともに、知名瀬町内会の皆様にも助けられながら避難訓練・救急救命講習などのソフト面の防災対策を進めました。

今年、卯年。これにあやかり愛の浜園も、うさぎのように大きく跳躍する1年にしたいものです。なお、懸案のグループホーム建設は、公益財団法人慈愛会の奄美病院と協力をいただきながら、必要な土地の取得などを進めており、建設に向けて準備を進めております。奄美病院との連携が容易な地の利をいかし、新たな愛の浜園の拠点として整備してまいりますので、ご理解をよろしくお願いたします。新型コロナウイルス感染症対策の終焉が見通せないなかですが、今年もご利用者の皆様のご支援をできるかぎり努めてまいりますので、変わらぬご協力をお願い申し上げます。(施設長：奥田)



ほっこりひとコマ。

12月活動の様子

ご家族との大切な時間...

**1月行事予定**

- 4日(水): 体重・血圧測定
- 9日(月): 自治会
- 12日(木): 合同歳の祝い
- 17日(火): 総合防災訓練
- 19日(木): 健康相談
- 24日(火): 音楽の日
- 27日(金): 誕生会
- 31日(火): レクリエーション

**感謝祭**

毎年11月に愛の浜園で行っていた感謝祭。コロナ禍でこの2年できない状況が続いていました。コロナ禍の中でも色々な方に「感謝祭はいつあるの?」と声をかけてもらうことも多く、この状況下でどうにかして取り組めなかと検討し、今年は奄美市市民交流センターのマチナカリビングを借りて利用者さんの作品を展示・販売する事となりました。少しのスペースではありましたが、職員のアイデアで、利用者さんの絵やビーズアクセサリ、活動班で作った作品などをクリスマス風に展示し、陶芸品と就労事業所で作っている手芸品を販売しました。あまり宣伝もできない中での実施で心配しましたが、当日たくさんの方に来ていただきました。中には、「愛の浜園で感謝祭があった時に、買いに行ったこともあるよ。」と声を掛けてくださる方がいたり、ある小学生の男の子が自分の財布からお金を出して「どっこいおじ」(陶芸で作った置物)を買ってくれる姿もあり、胸がいっぱいになりました。

コロナ禍でも愛の浜園では色々な取り組みをしています。密を避けなければならない世の中になり、色々な機会が減っていますが、今回の事で、工夫があれば機会を作る事ができるという事を改めて感じました。これからも利用者さんの喜びに繋がる機会をたくさん作っていききたいと思います。(記事：富田)

**訃報のお知らせ**

平成30年より愛の浜園に入所されていた岡山いずみさん。病氣療養の為、入院されていましたが、12月17日にご逝去されました。

昭和61年より36年間入所されていた里喜美子さん。12月25日急逝されました。たくさんの笑顔をありがとうございました。お二人に心からお悔み申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。

**3年ぶりの開催!!**

毎年11月に愛の浜園で行っていた感謝祭。コロナ禍でこの2年できない状況が続いていました。コロナ禍の中でも色々な方に「感謝祭はいつあるの?」と声をかけてもらうことも多く、この状況下でどうにかして取り組めなかと検討し、今年は奄美市市民交流センターのマチナカリビングを借りて利用者さんの作品を展示・販売する事となりました。少しのスペースではありましたが、職員のアイデアで、利用者さんの絵やビーズアクセサリ、活動班で作った作品などをクリスマス風に展示し、陶芸品と就労事業所で作っている手芸品を販売しました。あまり宣伝もできない中での実施で心配しましたが、当日たくさんの方に来ていただきました。中には、「愛の浜園で感謝祭があった時に、買いに行ったこともあるよ。」と声を掛けてくださる方がいたり、ある小学生の男の子が自分の財布からお金を出して「どっこいおじ」(陶芸で作った置物)を買ってくれる姿もあり、胸がいっぱいになりました。

コロナ禍でも愛の浜園では色々な取り組みをしています。密を避けなければならない世の中になり、色々な機会が減っていますが、今回の事で、工夫があれば機会を作る事ができるという事を改めて感じました。これからも利用者さんの喜びに繋がる機会をたくさん作っていききたいと思います。(記事：富田)